

米原駅周辺活性化による県広域振興に関する検討について

1 背景・経過

米原駅の東口における県有地については、これまで米原市と連携しながら、企業動向等の把握や企業情報を持つ機関と情報交換を行ってきたが、具体的な利活用には至っていない。

駅前の一等地である米原駅東口の県有地等の利活用を進め、中部圏・北陸圏との結節点としての地の利を活かした滋賀の活性化を進めていく。

【米原駅東口県有地の経過等】

平成13年 日本鉄道建設公団(旧国鉄清算事業団)から滋賀県土地開発公社が先行取得

平成13年～ 米原駅東部土地区画整理事業開始

平成25年 米原駅東部土地区画整理事業に係る造成工事完了

※ 米原駅東口の市有地については、平成24年に米原市がプロポーザルを実施して以降、随時利活用事業者を募集してきたが、一部土地を除き、事業者が立地していない。

2 土地の概要

米原駅東口	県有地	約2.1ha	
	隣接市有地(未利用分(保留地含))	約2.8ha	合計 4.9ha

<裏面参照>

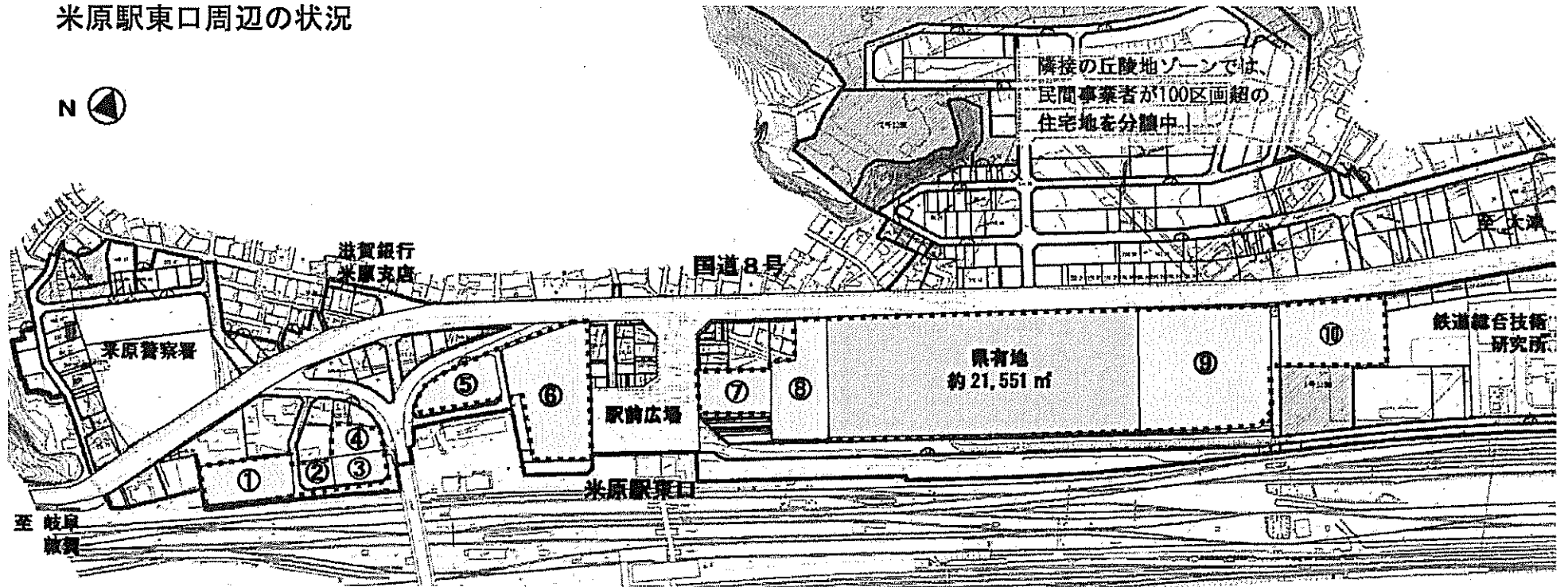
3 検討の進め方

総合政策部を中心として関係部局で構成する「米原駅周辺活性化による県広域振興に関する検討会議」を設置し、米原市と調整・連携しながら、米原駅東口県有地に隣接する米原市有地との一体的な利活用の可能性も視野に入れて検討を進める。

【検討スケジュール(予定)】

平成26年9月	検討会議立ち上げ・検討開始
平成26年10月～平成27年3月	基本方針の検討
平成27年度	基本方針に沿った具体的利活用内容等の検討

米原駅東口周辺の状況



米原市有地		
番号	面積	備 考
①	2,058.09	保留地
②	494.67	保留地(市) 【事業用定期借地契約済】
③	782.34	保留地(市) 【事業用定期借地契約済】
④	824.91	保留地(市)
⑤	1,809.08	市有地
⑥	5,283.56	市有地
⑦	1,722.41	市有地
⑧	3,425.53	保留地
⑨	9,035.32	保留地(市)
⑩	3,917.11	保留地(市)
全体(10区画)	29,353.02	

滋賀県有地			(単位:㎡)
番号	面積	備 考	
—	21,551.00		
計	21,551.00		
滋賀県有地+米原市有地			
	計	備 考	
市有地	29,353.02	利活用済(2区画:事業用定期借地契約済)	
県有地	21,551.00		
全 体	50,904.02		
全体のうち			
利活用済	1,277.01	利活用済(2区画:事業用定期借地契約済)	
未利活用	49,627.01		